

リニアは夢の乗り物か？

ストップリニアニュース No.35

発行: 2016. 10. 17 リニア新幹線を考える相模原連絡会 <http://sagami-hara-g.mond.jp/>

「ストップ・リニア！訴訟」原告・弁護団が初の口頭弁論 傍聴券求めて237人！強い関心を示す 9.23東京地裁

口頭弁論で川村晃生原告団長は、大きな犠牲を払ってリニア中央新幹線をつくる合理的な説明がなく、憲法で保障されている生存権や人格権などを一方的に侵害されていると訴え、つづいて6人の弁護士は、リニアのさまざまな問題点をあげて工事認可の違法性を指摘しました。また、訴訟にはJR東海が被告（国）側の補助参加人として関与することが決まり、今後の情報開示が期待されます。

★第1回口頭弁論における意見陳述の内容はHPを参照ください。

■ 裁判に期待する ～トンネル上の住民傍聴記～

裁判長は弁護団の弁論中机の書類を見ていたが、原告側主張の重要な論点の時には、キッチリ発言者に目を向けていた。弁論が終わり次回日程等に入り「具体的な答弁を」と国・JR東海側に求める裁判長発言。ある程度の期待をもって良いのか？やはり長期戦覚悟か？いずれにしても自分に降りかかってくる問題。キッチリ結審まで傍聴させて頂く。国側の主張を聞けなかったのが残念だった。（園山）



法廷の原告側席＝ANN テレ朝news 9/24

■ リニアの問題点を裁判を通じて多くの人に...

本裁判は、国交大臣によるリニア工事認可取り消しを求めるもので、第1回で1時間も行うのは異例、JR東海が大弁護団で対応との報告。リニアの問題点は、まだまだ知られていない。リニア新幹線は速い以外は全て×、大金をつぎ込み自然と環境を破壊し、せいぜい1時間の時間短縮を求めるのは無駄な愚行だと思う。裁判を通じて多くの人に知らせなければと思いました。（末永俊）



リニア訴訟報告集会(180人参加)＝参院会館

～ 裁判模様を報道～

- NHK NEWSWEB 9.23
(首都圏 NEWSWEB) リニア新幹線認可取消訴訟開始
(山梨県のニュース) リニア 認可取消訴訟始まる
- テレ朝 news 9.24
リニア新幹線許可取り消し訴訟 第1回口頭弁論
- TBS NEWS i 9.23
初のリニア差し止め訴訟始まる、原告「環境への影響深刻」

- 朝日新聞 9.24
リニア国側争う姿勢 取り消し訴訟「不適法な訴え」



JNN ニュース TBS NEWS i 9/23

「ストップ・リニア！訴訟」日程と傍聴参加のおねがい

～日本を壊すリニア工事の認可取り消しを求める「ストップ・リニア！訴訟」～

- 第2回 2016年12月 9日(金)午後2時30分～東京地裁103号法廷
- 第3回 2017年 2月24日(金)午後2時30分～東京地裁103号法廷
- 第4回 2017年 4月28日(金)午後2時30分～東京地裁103号法廷

- 東京地方裁判所の最寄駅は地下鉄丸ノ内線、千代田線、日比谷線「霞ヶ関」駅A1出口から徒歩1分。

◆原発・貧困・リニアは3兄弟だ！！

～9.29 ストップ・リニア！訴訟記念講演会「原発・リニアと活断層～熊本地震が教えるもの」～

日本列島は現在、地震・火山活動が頻繁に起こっており、政府も南海トラフ地震対策を盛んに行っている。今回、専門家の講演を聞き、地下トンネルを掘りまくるリニア工事の為、起きうる確率の高い、取り返しのつかない災害しかも取り返しのつかない愚行だとよくわかった。また、原発頼みのリニアについて国費を投入する方向で、起こりうる災害被害、に加えて経済被害までを国民に負わせてまでやろうとする根拠、御用学者による提言を国会の場で徹底討論をして欲しいと思った。参加者からこのリニア問題は自然破壊の原発問題、超多額の国費を投入した結果の国民貧困問題と悪の3兄弟と聞きました。まさにその通りで、相模原のリニア反対運動にも経済面を強調して展開するほうがもっと関心を持ってもらえるとと思いました。(岡崎)



◆地元の「最後まで頑張りますよ」に励まされ…

～9.15 こもれびの森九条の会と市内一巡のリニア現地見学～



トラスト運動を始めた鳥屋（巨大車両基地計画）では土地を提供して下さった栗原さんからのお話。この行動自体が並々ならぬ郷土愛、ストップ・リニアのお気持ちだ。旧藤野の牧馬は山の中。沢水を頼りに暮らす小集落。そこへリニアの非常口＝トンネル掘り出し口！？ 迎えてくれた皆さんからは不安、疑問、JR 東海との粘り強い交渉の話。父親は幼な子をしつかと抱いて「最後まで頑張るよ。」力強い思いが伝わる。「地元に住む人の話は臨場感があった。」と語る参加者は、より深い理解につながったようだ。皆さん！どうぞ現地に足を運んで下さい。ご案内致します。(桜井)

◆将来への不安がつる ～トンネルルート付近の住民の声～

～9.24 橋本地域のリニア沿線ルート地権者相談会～

トンネルの幅13mに加え両側左右27mの範囲でシールド工法によるトンネル掘削工事に伴い、振動と地盤変動にともなう建物等へ損傷の危険があるとのことと不安です。又、ルート上の地上権の設定に伴う交渉と補償費用の算定などの疑問と補償対象区域からちょっとでも離れた処は対象外となる不条理。開通後の振動及び電磁波障害などの子や孫の世代にわたる不安もつづります。話の中で、ルート上の新築された方（建売）が不動産屋からのリニア関連の話は一切知らされず契約してしまい憤慨されて相談に来られた方もいることなどを聞きました。翌日、私の住んでいる宮下本町3丁目のルート上に赤い中心鉄が打たれているのをこの目でみて、リニアがそこまで来ていると改めて実感し、今後も、多くの近隣のルートの方が参加できるリニア問題学習・相談会などを要望したい。(小林)



アドバイザー 和泉貴士 弁護士

リニアで得する人損する人

リニア学習会速報！

講師：上岡直見さん

環境経済研究所(技術士事務所)代表
交通権学会会長

とき 11月20日(日) 1:30～4:00pm

ところ ソレイユさがみ セミナールーム1

JR横浜線、京王線「橋本駅」北口徒歩3分(イオン橋本店6階)



●報告 *「ストップ・リニア！訴訟」弁護団 * JR 東海労組 資料代500円 主催 リニア新幹線を考える相模原連絡会

お願い

★ 活動はみなさまのカンパで維持しています、ぜひご協力をお願いします。
郵便振替口座:00240-7-71305 口座名:リニア新幹線を考える相模原連絡会

発行者: 代表 浅賀きみ江 相模原市緑区東橋本2-6-2 TEL:090-4378-9257